

introduction

7月・8月から鹿屋市に新たに外国人指導助手として勤務している4人の外国人を紹介します。



Matthew Weidner さん
(マシュー・ワイドナ)

出身地: アメリカ

勤務先: 吾平中、大始良中、串良中、吾平小、
鶴峰小、下名小、大始良小、串良小

ニックネーム: マット

趣味: サッカー、音楽

鹿屋の人に一言

鹿屋市に来る前に、東京の東村山市で暮らした経験がありますが、九州は初めてです。地域の伝統行事や日本の武道、スポーツに興味を持っています。鹿屋市の皆さんどうぞよろしくお祈りします。



Kirsty Thompson さん
(カースティ・トンプソン)

出身地: ニュージーランド

勤務先: 鹿屋中、第一鹿屋中、花岡中、鹿屋小、
西原小、花岡小

ニックネーム: カースティ

趣味: 武道、自然探検

鹿屋の人に一言

鹿児島も鹿屋もとても自然が美しいところです。ここに住めることをとても嬉しく思います。日本の様々な武道や料理にチャレンジしたいです。鹿屋の皆さん、これからよろしくお祈りします。



Jenner Paulino さん
(ジェナー・パウリノ)

出身地: アメリカ

勤務先: 田崎中、高隈中、輝北中、上小原中、東原小、
西俣小、高隈小、大黒小、輝北小、上小原小

ニックネーム: ジェナー

趣味: アメフト、バスケット、バレーボール

鹿屋の人に一言

日本にいる間に、学生や先生、地域の人々と話をするために、日本語を勉強したいです。鹿屋で過ごせることを幸せに思い、皆さんと会ったり、話したりすることを楽しみにしています。



Andy Tran さん
(アンディ・トラン)

出身地: アメリカ

勤務先: 鹿屋東中、高須中、
笠野原小、寿小、寿北小、浜田小、高須小

ニックネーム: アンディー

趣味: サッカー、野球、バスケット、ジョギング

鹿屋の人に一言

ワッツアップ! 皆さんはじめまして! 私の父はベトナム人で母は日本人です。アメリカのテキサスで生まれました。日本とKanoyaのいろいろな文化を知りたいです。ぜひ、友達になろうー!

discussion

7月から勤務する新人ALTと3年目を迎えるベテランALT、彼らと接する市学校教育課長にお話を伺いました。

——ALTになられたきっかけをお聞かせください。

セーラ 子どもたちがとても好きで、アメリカや韓国でも、園児や児童に英語を教えていました。子どもたちの好奇心旺盛な姿に私はいつもワクワクしていました。日本の子どもたちと一緒にワクワクする英語の授業をしてみたいと思ったのがきっかけですね。

アンディ 母は日本人なのですが、アメリカで育った私は、日本についてテレビやアニメで見る程度で、ほとんど知りませんでした。でも、成長するにつれて、母の育った日本の文化や生活について強く知りたくなったことと自分の様々な経験を生かして、子どもたちへ英語の面白さを伝えたいと思ったのがきっかけです。

——ALTの仕事のやりがいを教えてください。

セーラ 私の存在を通して、子どもたちや周囲の人が英語や他国の文化について学んでくれていると実感したときです。私自身も同様に鹿屋市の皆さんから日本語や文化について、様々なことを教えてもらっています。これからも、お互いに吸収し、学び合える関係を築いていきたいです。

アンディ ALTとして配置された当初は、自分の役割を果たしているのが不安に思っていました。今では、子どもたちが、心から私のことを知りたいと感じ、素直な気持ちで接してくれるので嬉しく思っています。ALTとしての活動を通して、鹿屋市の素直な子どもたちの気持ちを汲み取れるような先生になりたいという目標ができました。

——新人ALTの先生にアドバイスをお願いします。

大久保 子どもたちは、ALTの先生が教室に入ってくるとすごくエキサイトしたり嬉しかったりするんですね。私も英語の授業をしたことがあるのですが、私だけではとても授業をエキサイトした雰囲気に持って行けません。日本の中なのに教室をアメリカやオーストラリアにしなければならぬんです。ALTの先生はそこにいるだけですごい存在なのです。端的に言うと教科書に書かれた表現・言い方・テープから聞こえてくる英語で授業はできると思います。ただ、本物のスピーチや表現、また生活や文化に触れるということが、子どもたちにとって重要な役割を果たしています。



ALT
Andy Tran さん
(アンディ・トラン)

子どもたちには、ALTの向こうに外国が見えていると思います。そこに、ALTの意味があると思います。ALTの先生に望むことは、日本語ではなく英語で、英語のシャワーを浴びせて欲しいということです。日本人は恥ずかしがりなので、ALTの先生からいっぱい話しかけてください。

セーラ 地域に溶け込むことが重要だとも思います。外国人の中には、地域の人々と上手に関係を築けずに寂しさを感じる人もいます。地域に、鹿屋市に溶け込むことが重要です。私は、鹿屋市国際交流協会の会員として、クリスマスマーケットやホームステイの手伝い、浜辺の清掃といった地域のボランティア活動に取り組んだり、習い事の琴をしたりしています。

大久保 鹿屋市にとってALTがいることが、国際交流です。学校だけでなく、地域の祭りなど、できるだけ出かけて地域のいろいろな人と話し、親しくなって欲しいと思います。国と国の交流ではなく、人と人の交流が大事な時代になっています。そういうグローバルな時代に合わせて頑張ってください。

アンディ 現在は教えることが非常に面白いと感じ、時間もあっという間に過ぎていくのですが、年を重ねるごとに変わっていくとも思います。これからは、多くのイベント等に参加し、よく人を知ること、鹿屋でよい経験を積んでいけるよう頑張っていきたいと思っています。

——英語を学ぶ子どもたちに期待することを教えてください。

大久保 日本人は、英語を使って外国人と話したいという気持ちは強く持っていると思います。ただ、ほとんどの人が、小・中学校から英語を勉強しているのに、社会で英語を使えず挫折感を感じているのも確かだと思います。それだけにALTが小学校・中学校・高等学校に入り、授業に参加してくれることは、今の子どもたちにとって非常に幸せなことです。ぜひ、このことが、英語を話せる日本人につながってくればと願っています。



ALT
Sarah Mitchell さん
(セーラ・ミッチェル)

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT

ALT